

平成30年度 第2回熊本市社会教育委員会議

日時：平成31年3月18日（月）14：00～

場所：熊本市教育センター 3階第2研修室

[次 第]

1 開 会

2 事務局代表挨拶

3 議 事

（1）平成30年度学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の
実施について

（2）平成31年度熊本市社会教育関係事業について

4 報 告

（1）熊本博物館のリニューアルオープンについて

（2）白川公園内複合施設（中央公民館・白川公園）
にかかる指定管理者について

（3）公民館のあり方検討について

（4）熊本市生涯学習指針の現状について

5 閉 会

目 次

ページ

熊本市社会教育委員	1
-----------	---

平成30年度第2回熊本市社会教育委員会議出席者	2
-------------------------	---

議事

(1) 平成30年度学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について

学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について	3
---------------------------	---

学びノート教室（指導課）	5
--------------	---

放課後子どもスポーツ教室（スポーツ振興課）	6
-----------------------	---

子ども科学・ものづくり教室（熊本博物館）	8
----------------------	---

公民館子ども講座（生涯学習課）	9
-----------------	---

子どもチャレンジ公民館（生涯学習課）	10
--------------------	----

家庭教育支援活動（青少年教育課・生涯学習課）	12
------------------------	----

(2) 平成31年度熊本市社会教育関係事業について	14
---------------------------	----

別冊資料	【報告（1）】熊本博物館のリニューアルオープンについて
	【報告（2）】白川公園内複合施設（中央公民館・白川公園） にかかる指定管理者について
	【報告（4）参考資料】熊本市生涯学習指針（答申）概要版
	【報告（4）参考資料】熊本市生涯学習指針について（答申）

熊本市社会教育委員名簿

(敬称略・順不同)

区分	氏 名	所属団体・役職等
学識経験者	小澤 雄二	熊本大学教育学部准教授
学校教育	諏訪園 勉	熊本市中学校長会 熊本市立東町中学校長
社会教育	中川 ケイ子	熊本市地域婦人会連絡協議会副会長
社会教育	加藤 貴司	熊本市地域公民館連絡協議会会長
社会教育	大舘 敬七郎	一般社団法人熊本青年会議所 監事
社会教育 家庭教育	高木 徳文	熊本市家庭教育地域リーダー
家庭教育	東田 恵子	心理相談員
社会教育 家庭教育	橋口 健二	熊本市PTA協議会 教養委員
市民公募	山平 敏夫	市民公募

任期：平成２９年６月１日から平成３１年５月３１日

ただし、改選の者については平成３０年６月２８日から平成３１年５月３１日

平成30年度第2回熊本市社会教育委員会議出席者

教育政策課	課長	上村 鋭二
-------	----	-------

青少年教育課	課長補佐	河津 みづほ
--------	------	--------

金峰山少年自然の家	所長	中村 正幸
-----------	----	-------

熊本市立図書館	館長	坂本 三智雄
---------	----	--------

熊本博物館	館長	植木 英貴
-------	----	-------

指導課	課長	松島 孝司
-----	----	-------

文化振興課	副課長	中元 正人
-------	-----	-------

スポーツ振興課	首席審議員兼課長	松川 善範
---------	----------	-------

生涯学習課	課長	渡部 秀和
-------	----	-------

平成３０年度 学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について

１ 社会教育委員会議での検討について

地域学校協働推進事業及び地域における家庭教育支援総合推進事業については、文部科学省が定める学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領（平成３０年３月６日文部科学省生涯学習政策局長・初等中等教育局長決定）に基づき実施しており、社会教育委員会議では、地域学校協働活動の総合的なあり方や各地域学校協働活動の実施方針等について検討する。

※地域学校協働活動

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動

２ 地域学校協働推進事業について

（１）概要

未来を担う子どもたちを健やかに育むため、学校、家庭、地域住民等が連携協力し、地域の実情に応じた取り組みを有機的に組み合わせて、放課後子供教室の実施や、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日に体系的・継続的なプログラムを実施し、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。

（２）実施（運営）主体

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能）

（３）国庫補助率（国庫補助金名）

予算補助 1／3（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

（４）本市における学校・家庭・地域の連携による地域学校協働活動

ア 放課後子供教室

放課後等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動

（ア）学びノート教室（教育委員会事務局学校教育部指導課）

（イ）放課後子どもスポーツ教室（経済観光局文化・スポーツ部スポーツ振興課）

イ 土曜日の教育活動

（ア）子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）

（イ）公民館子ども講座・子ども充実ホリデー事業・子どもチャレンジ（市民局市民生活部生涯学習課）

3 地域における家庭教育支援総合推進事業について

(1) 概要

家庭をめぐる問題が複雑化している今日、社会全体での家庭教育支援の必要性が高まっている。このため、地域人材の養成、家庭教育支援チームの組織化、家庭教育支援員の配置等を行い、身近な地域における保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の実施、相談対応等の支援活動を実施することで、家庭教育支援を総合的に推進する。

(2) 実施（運営）主体

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能）

(3) 国庫補助率（国庫補助金名）

予算補助 1／3（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

(4) 本市における家庭教育支援総合推進事業

家庭教育支援活動（教育委員会事務局教育総務部青少年教育課、市民局市民生活部生涯学習課）

保護者等への家庭教育に関する情報や学習機会の提供、地域で家庭教育を推進するための人材養成など、全ての親が安心して家庭教育を行うための支援活動

学びノート教室（教育委員会事務局学校教育部指導課）

1 平成30年度の実施状況について

- (1) 目的 児童の学ぶ意欲の向上や学びの習慣化を目指し、基礎学力の定着を図る。
- (2) 実施期間 平成30年4月～平成31年3月
- (3) 実施回数 年間25回程度（1回につき約1時間）
各学校の実情に応じて放課後または長期休業期間中に開催
- (4) 実施校数 92校（全ての市立小学校）
- (5) 実施内容 小学校における全ての児童に配付している問題集「学びノート」や市学力調査の復習プリント等を活用した学習指導
- (6) 対象者 小学校3年生以上の希望児童

	3年	4年	5年	6年	合計
参加人数	2,258	1,556	1,223	1,087	6,124
1校あたり参加人数	25	17	13	12	67
参加率(参加人数/全児童数)	33%	23%	18%	16%	22%

- (7) 指導者等 学びノート教室サポーター及び教職員
- (8) 学びノート教室サポーター数 176人（平成31年1月末現在）
- (9) 実施効果（学校に対するアンケートより）

①学びノート教室に参加した児童の学習意欲は向上してきていますか。

状況	向上	どちらかといえば向上	どちらかといえば低下	低下
割合	16%	84%	0%	0%

②学びノート教室に参加した児童の基礎的な学力は向上してきていますか。

状況	向上	どちらかといえば向上	どちらかといえば低下	低下
割合	9%	90%	1%	0%

2 2019（平成31年）年度の実施計画について

- ・個別の児童への支援を中心に、児童の学ぶ意欲を向上させることや学びの習慣を身に付けることを大切にする。
- ・従来通りの「学びノート教室」の形に加え、2019年度からは、年間の実施回数・実施時期を各学校で設定し、指導内容の充実を図っていく。
- ・冊子版「学びノート」の配布は2019年度で終了し、PDF版として残す。今後は、タブレット端末の導入に伴い、学習支援アプリ「ドリルパーク」を中心教材として加え、個に応じた支援を図っていく。
- ・学びノート教室サポーターの確保及び家庭や地域への制度周知を目的として作成した啓発ポスターやチラシを活用し、事業の充実を図っていく。

放課後子どもスポーツ教室（経済観光局文化・スポーツ交流部スポーツ振興課）

1 事業内容

放課後子どもスポーツ教室事業は、地域住民が自主運営している「総合型地域スポーツクラブ」や「校区体育協会」等が実施主体となり、子ども対象のスポーツ教室を行い、子どもたちのスポーツ機会の拡充、地域コミュニティの向上等を目指す。

放課後や休日の学校運動施設を活用することで、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを、また同時に地元の総合型地域スポーツクラブや校区体育協会等が教室運営することで、地域住民と子どもたちの交流を図りながら、地域での子どもたちの学びの場を提供する。

スポーツ教室は、原則として課業日放課後に開催。それぞれの教室で、各種運動・スポーツ・レクリエーション活動等を行う。

- （１）実施期間 平成３０年６月～平成３１年３月
- （２）実施場所 各小学校運動場や体育館
- （３）対象者 主として小学３年生
- （４）募集定員 各校３０名以内
- （５）実施日等 年間２０回実施、１回２時間程度の活動
月曜日放課後実施：小島小、吉松小、杉上小、健軍小
- （６）参加費 参加者保険料８００円（参加者負担）

2 活動の実際（各教室の主な活動内容）

小島小学校	体操教室・バスケットボール・水泳・サッカー・ドッジビー・タグラグビー・ティーボール・遊戯運動など
吉松小学校	カヌー・剣道・フライングディスク・バスケットボール・太極柔力球、ニュースポーツ など
杉上小学校	ボール遊び・バスケットボール・バドミントン・ドッジビー・長縄とび・遊戯運動など
健軍小学校	ボール遊び・バレーボール・バドミントン・リレー・遊戯運動など



アキュラシーの様子（吉松小）



リレーの様子（健軍小）



遊戯運動の様子（杉上小）

3 参加人数（3年生児童数）

	小島小	吉松小	杉上小	健軍小	合計	
参加者（人）	15	20	25	24	84	
在籍数（人）	45	23	60	104	232	
加入率（％）	33%	87%	42%	23%	36%	（H30年度）

4 来年度の実施について

- ・スポーツ振興課と運営主体となる総合型地域スポーツクラブ等で協議し、実施校を選定。
- ・本年度からの実施校に加えて、新たに実施校を選定し、実施予定。
- ・スポーツ教室の実施会場である小学校とも協議し、会場使用可能な曜日で実施。
- ・教室の実施回数は年間20回程度を予定。
- ・1学校につき2年間の事業を実施し、その後は総合型地域スポーツクラブ等による自主運営のスポーツ教室へと移行していく。

5 自主運営について

- ・2年間の委託事業を終えたら、クラブの自主運営にて教室を継続する方向で勧めている。
- ・市の委託時と同様に、実施会場である小学校と協議し、会場使用可能な曜日で実施予定。（土曜を含む）
- ・参加費は受益者負担となり、募集定員や実施回数、対象学年等を含め、地域の実態等を考慮し、運営主体団体で検討する。

6 今後の実施計画

- ・2019年度は、継続1校、新規4校（調整中）で実施予定。

実施校名	担当クラブ	2018	2019	2020
小島小学校	NPO法人スポレク・エイト	継続2年目	自主運営へ	自主運営へ
吉松小学校	NPO法人u & u Nスポ植木			
杉上小学校	火の君スポーツクラブ			
健軍小学校	東部地域総合型スポーツクラブ	新規1年目	継続2年目	
新規小学校（未定）	（調整中）		新規1年目	継続2年目
新規小学校（未定）	（調整中）			
新規小学校（未定）	（調整中）			
新規小学校（未定）	（調整中）			

子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）

1 目的

小中学生向けに「科学実験や科学工作（ものづくり）」等の直接体験の場を設け、子どもたちが楽しく活動しながら自然科学の原理や技術（歴史や伝統文化に関する内容も一部含む）について学ぶ機会を提供する。

2 平成30年度の実施状況について

本年度は年間26回の教室を計画し、1月末時点で22回（塚原歴史民俗資料館で12回、子ども文化会館で4回、リニューアル後の当館「実験・工作室」および「講堂」で6回）の教室を終え、参加者数は1300名を超えたところである（前年度は全25回：901名の参加）。

水と空気、光と色、電気と磁力、さまざまな力などをテーマに、「定員制（1回：25名）」と定員を設けない「オープン参加制」の2形態で運営している。基本的には担当者一人でも運営可能な定員制での実施が多くなっている。

別途、要請に応じて市内の公民館事業や、学校での学年PTA活動としても出前講座を数回実施し、事業の普及に努めている。（備品費以外：1/3国庫補助事業）

	教室名	期日(1)	期日(2)	対象者	指導者	参加数
①	巴形銅器のレプリカを作ろう	4月21日(土)		小中学生	学芸員・研究員	18
②	アンモナイトのレプリカを作ろう	5月20日(日)		〃	学芸員・研究員	13
③	箱の中に虹を作ろう	6月9日(土)	2月23日(土)	小中学生	研究員	27
④	おもしろ実験に挑戦！	6月16日(土)	7月21日(土)	一般参加	研究員・ものづくりサークル	203
⑤	宙返りバードを作ろう	7月7日(土)	3月9日(土)	〃	研究員	19
⑥	水中UFOキャッチャー作り	7月15日(日)	8月18日(土)	〃	研究員	63
⑦	液体窒素実験ショー	8月4(土)	8月26日(日)	〃	学芸員・研究員	270
⑧	家庭でできる科学工作	8月11日(土)		一般参加	研究員・ものづくりサークル	35
⑨	大気圧の実験ショー	8月12日(日)	1月12日(土)	〃	研究員	192
⑩	紙パックカメラを作ろう	9月8日(土)		小中学生	研究員	22
⑪	コイルモーターを作って回そう	9月15日(土)	12月15日(土)	〃	研究員・ものづくりサークル	57
⑫	葉脈標本でしおりを作ろう	10月13日(土)		〃	学芸員・研究員	5
⑬	くるくる回るシャボン玉作り	11月17日(土)	3月23日(土)	〃	研究員	22
⑭	オープン記念「実験・工作フェスタ」	12月2日(日)				170
⑮	静電気実験ショー	12月8日(土)		一般参加	研究員	145
⑯	静電気グッズを作ろう	12月24日(月)		小中学生	研究員	37
⑰	活性炭電池を作ろう	1月26日(土)	2月9日(土)	〃	研究員・ものづくりサークル	35
17題材：26回					合計(22/26回)	1333人

※ 平成31年1月末時点

3 平成31年度の実施計画について

昨年12月1日、5年5カ月ぶりの全館開館に漕ぎ着けた。ここ数年は南区域南町の塚原歴史民俗資料館を主会場として本事業を継続してきたが、平成31年(2019年)度からは熊本博物館の「実験・工作室」・「講堂」をメイン会場に（現在、稼働中）、受入れ定員も若干増やして開催する。

実施内容および広報活動を工夫し、他の学芸員やものづくりサークル（任意の教育団体）、さらには大学や高等専門学校、科学工作等を行うNPOとも協力しながら、より魅力的な教室開催を目指す（全26回の開催予定）。

公民館子ども講座（市民局市民生活部生涯学習課）

1 事業内容

子どもたちが休日（土曜・日曜・祝日・長期休業期間）を有意義に過ごすために、子どもや親子を対象とした多様な講座の開催や、公民館の開放を通して、地域も巻き込んだ世代間交流を図り、子どもたちにとって充実した休日となる事業展開を目指す。

- （１）実施時期 平成30年4月～平成31年3月
- （２）実施日 土・日・祝日及び長期休業期間
- （３）実施場所 各公民館及び近隣高齢者施設 等

2 実施状況

（１）概要

各公民館では、「いけばな」「琴」「親子こうひつ・書道」などの文化的講座や「朝・昼食づくり」「生物調査」「星空観察」などの体験的講座を開催し、子どもの興味関心を持続させる工夫をしながら子どもたちにとって充実した休日となる事業の実施に取り組んだ。また「親子フラダンス」などの親子でのふれあい活動を通して、家族の絆を深める講座も開催した。

- （２）対象者 幼児、小学生、中学生
- （３）指導者等 各講座講師
- （４）講座数 357講座（平成31年1月末現在）
- （５）受講人数 6,153人

中央区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
中 央	ものづくり教室 熊大メイクフレンズと遊ぼう	14	278
大 江	おおえキッズ劇団 逆上がり・跳び箱教室	11	171
五 福	親子陶芸教室 サタデーワンダーホール（開放事業）	14	375
計		39	824

* 中央公民館は建替え中のため、五福公民館で開催した。

東 区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
東 部	キッズプログラミング 親子茶道	32	437
託 麻	はじめての将棋 託麻 DE 科学工作！	32	628
秋 津	レア生物を探せ（江津湖・うぐいす川） 書き方教室	24	745
計		88	1810

西 区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
西 部	親子でクリスマスケーキづくり よく揚がる風作り	5	104
花 園	子ども将棋（開放事業） 運動会直前対策！ かけっこ教室	17	243
河 内	おいしいみかん調査隊 夏休み応援企画（習字等）	12	249
計		34	596

南 区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
南 部	夏休み！親子でパン作り キッズルーム（開放事業）	44	406
幸 田	夏休み子ども百人一首 ヒップホップダンス！	11	179
飽 田	子ども生け花教室 夏休みお天気教室	8	138
天 明	キッズ将棋 親子でリトミック	16	247
富 合	親子で本格餃子作り！ キッズトランポリン教室	22	448
城 南	ちはやふる はじめてのチアリーディング	6	87
計		107	1505

北 区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
龍 田	お琴体験教室 親子お菓子づくり教室	10	123
清 水	清水キッズ体験隊 ファミリーであそび隊	20	205
北 部	おしゃべり窓ふき隊 放課後子ども教室	47	903
植 木	家族で学ぶ災害への備え 親子でミニトランポリン	12	187
計		89	1418

3 今後の事業実施について

今後も子どもたちにとって充実した休日となるように、エリア内の小中学校の土曜授業や地域の行事等の状況を確認したうえで、子どもたちや保護者のニーズを把握するとともに地域の特性を生かしながら、子ども・親子講座事業を展開していく。

子どもチャレンジ公民館（市民局市民生活部生涯学習課）

1 事業内容

現代の子どもたちのニーズを事業に反映させ、子どもたちが主役となって有意義な休日を過ごす。子どもたち自らイベント等を企画・運営することにより、学校等ではできない貴重な交流体験の機会の提供を図る。

区ごとに主担当館を一年交代にして、区の特徴を生かしながら事業を実施することで、子どもたちが気軽に利用できる、身近な公民館となるよう取り組んでいく。

- (1) 実施時期 平成30年4月～平成31年3月
- (2) 実施日 土曜・日曜・祝日及び長期休業期間
- (3) 実施場所 各公民館及び青少年教育施設 等

2 実施状況

- (1) 概要
- 区ごとに募集した子どもプランナーが、支援者（社会教育主事・大学生ボランティアなど）からアドバイスを受けながら、会議や合宿等を重ね、イベントの企画・参加者の募集・イベントの準備・運営等を行った。自らイベントを企画し、運営することによってリーダーシップを育成する学習体験の場ともなっており、市民協働の事業として定着している。また、他校生や大学生ボランティア、イベントコーディネーターと触れ合うことによって、コミュニケーション能力育成の場ともなっているし、イベント自体も、普段、学校では体験できないような活動が主となっていて、一般参加者にとっても貴重な体験学習の場となった。また、閉講式では子どもプランナーとして活動した子どもたちに「感謝状」を渡し、表彰の機会を設けるようにしている。
- (2) 対象者 小学生
- (3) 支援者 公民館社会教育主事及びボランティア（大学生等）
- (4) 各区の事業（平成30年1月末現在）

■中央区 担当：五福公民館 支援者：社会教育主事・熊本大学メイクフレンズ

会議・合宿	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
プランナー会議（15回）	6月10日～1月20日	五福公民館 金峰山少年自然の家	開講式、親睦レクリエーション 企画会議、イベント準備・予行	14人	17人
イベント	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
なつの大うんどう会 i n 五福公民館	8月5日	五福公民館	夏の大運動会	13人	24人
タルトいっしょに作っタルと	10月14日	五福公民館	タルト作り	13人	18人
サンタがまちにやってこない！？ 2018年 冬のウォークラリー	12月16日	五福公民館周辺	ウォークラリー	10人	21人

■東区 担当：秋津公民館 支援者：東区社会教育主事・熊本大学メイクフレンズ

会議・合宿	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
プランナー会議（10回）	6月9日～	秋津公民館	企画会議	8人	3人
イベント	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
うぐいす川清掃&川遊び	9月15日	うぐいす川	うぐいす川の生き物・植物・水質調査、川遊び体験	6人	8人

■西区 担当：花園公民館 支援者：西区社会教育主事・熊本大学メイクフレンズ・熊本蕎麦の会 他

会議・合宿	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
プランナー会議（6回）	6月2日	花園公民館	活動内容把握、仲良くなる活動、会議の練習、企画会議、本番に向けて	8人	14人

イベント	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
みんな集まれ！わくわく工作ランド	8月4日	花園公民館	厚紙で車など作成、カラーソルト・スクイズ作り	8人	14人
偶然の色と形	8月26日	花園公民館	絵筆など使わずどこにでもある道具を使って絵を描く	6人	2人
柿原体験（生き物観察）	9月9日	柿原鳴岩	柿原に生息する生き物観察	6人	1人
お祭りの裏側を知ろう	9月24日	花園公民館	花園児童館子どもフェスティバルの準備	7人	1人
避難所体験！子ども防災宿泊教室	10月27日・28日	花園公民館	防災についての活動や講話を通して防災意識を高める	7人	3人
風を読む凧作り体験	11月18日	花園公民館	昔ながらの凧作り体験	7人	2人
干し柿作り	11月18日	花園公民館	昔ながら干し柿作り	7人	1人
蕎麦打ち体験	12月2日	花園公民館	実際に蕎麦を打ってみる	7人	7人
里山体験～ミステリーツアー～	12月24日	小萩園	歩きながら自然観察をする	1人	2人
花園ジンを作ろう	1月13日	花園公民館	体験活動をまとめた本を作るための必要な知識・技能を学び、ジンを作成する。	7人	3人

■南区 担当：城南公民館 支援者：南区社会教育主事・加勢川開発研究会・熊本大学メイクフレンズ 他

会議・合宿	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
プランナー会議（12回）	6月10日～	城南公民館	開講式、年間計画作り、イベント準備、調理体験	20人	7人

イベント	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
中無田閘門へ行こう！そだネ～!!	9月16日	中無田閘門	カヌー・ペットボトルロケット体験、環境学習	20人	14人
公民館でおとまり!!!公民館の果てまでイッテQ	10月20日・21日	幸田公民館	避難所体験、集団宿泊体験、地域散策（公民館宿泊）	14人	9人
みんなで登ろう雁回山～寒さに負けずみんなでチャレンジ	12月2日	雁回山	雁回山登山	14人	7人
みんなで行こうアイススケート～YOUは何しにスケート～	1月27日	アクアドーム	アイススケート	14人	6人

■北区 担当：清水公民館 支援者：北区社会教育主事・九州ルーテル学院大学生

会議・合宿	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
プランナー会議（9回）	6月17日～	清水公民館	開講式、年間計画作り、イベント計画、準備	10人	15人

イベント	期日・期間	場所	内容	プランナー	支援者
北区子どもまつりブース出展	9月29日	植木文化センター前広場	ストローを使った科学工作（プカプカボール）、わたがし出展	10人	12人
お楽しみクリスマス会	12月23日	清水公民館	クッキー・カップケーキ作り、ゲーム	7人	13人
ニュースポーツオリンピック冬	1月20日	清水公民館	チームによるニュースポーツ種目体験	7人	14人

3 今後の事業実施について

本事業は、平成15年度からの継続事業であり、公民館社会教育主事を中心に大学生やNPO団体等の支援者協力のもと、子どもプランナーが企画会議を経て、イベントを企画・運営する事業として定着している。今後とも学校等と連携を図りながら、多くのプランナーまたは参加者が集う魅力ある事業としたい。さらに、子どもたちにコミュニケーション力、対応力等をはじめ、社会で活躍する力をつけさせるとともに、次世代を担うリーダー育成をめざして継続していく。

家庭教育支援活動

(教育委員会事務局教育総務部青少年教育課・市民局市民生活部生涯学習課)

家庭教育は、基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達などに大きな役割を担うものであるが、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭教育に困難を抱えた家庭の増加が指摘され、社会全体での支援の必要性が高まっている。

そこで、家庭教育の担い手である親の学びを応援するため、家庭教育に関する学習機会の提供を行うとともに、身近な場所で家庭教育推進を担う地域人材の育成に取り組む。

1 事業内容及び実施状況

(1) 家庭教育推進事業

ア 家庭教育セミナー

乳幼児期から高校生までの子どもを持つ親を主な対象として、幼稚園・小中学校やPTA、企業等からの申込みにより講師や進行役を派遣。専門講師による講演会型と、県が作成したくまもと「親の学び」プログラムを活用したワークショップ型がある。

テーマ例：家庭でのルール作り、親の役割を見つめる、
SNS 環境下における家庭教育 等

	H28	H29	H30
件数	67	75	71
参加者数	4,953	5,815	5,342

イ 家庭教育地域リーダー養成講座

※H31.1月末現在。申込み済で未実施分含む。

地域で家庭教育支援を行うリーダーを養成する講座。毎週

1回、計8回の連続講座を開催。家庭教育に関する講義やグループワーク、ファシリテーションの実践等を講座の中で行うことで、くまもと「親の学び」プログラムの進行役を養成した。

(ア) 主な講座内容 ファシリテーション基礎～実践、子どもの育ちや発達障害、基本的な生活習慣、
スマホ・SNSの現状と課題 等

(イ) 修了生の活動 家庭教育セミナーでの進行役 等

ウ 家庭教育地域リーダーステップアップ研修

H22～30年度までの家庭教育地域リーダー養成講座修了生を対象とし、人材交流による家庭教育支援の広がりとなし、新たな進行役の養成及びスキルアップを目的として実施。

(ア) 実施期間 12月～翌2月（毎月2回程度開催）

(イ) 主な講座内容 ・ファシリテーション復習～実践（民間専門講師）
・くまもと「親の学び」プログラムの進め方（公民館社会教育主事）
・くまもと「親の学び」プログラム講義（民間専門講師）

(家庭教育推進事業 展開イメージ)



(2) 家庭教育学級

保護者が自ら課題を持ち寄って主体的に計画・運営する学習について支援する。

(ア) 開設単位 学校及び幼稚園・保育園

(イ) 実施期間 4月～翌3月

(ウ) 開設学級数 80学級(幼稚園2、小学校65、中学校13) ※昨年度比2増6減

2 今後の事業実施について

(1) 家庭教育推進事業

ア 家庭教育セミナー

全ての小学校区(92校)で家庭教育に関する学習機会の提供を行うことを目指し、本事業をその柱とする。あらゆる機会を活用し、学校(PTA)への活用依頼や広報等を積極的に行っていく。加えて、企業に対し職場研修等での活用について働きかけを行う。

イ ステップアップ研修

これまでに養成した家庭教育地域リーダーを対象に研修を実施して個々のスキルアップを行うとともに、家庭教育地域リーダー同士のネットワークをさらに強化することで、家庭教育地域リーダーによる家庭教育支援活動の広がりを目指す。

ウ 広報活動

家庭教育セミナーの機会が限られているため、出席できない保護者にも定期的に情報を提供し、家庭教育力の向上を目的とするため、家庭教育に関する情報発信の広報物を作成し、全児童へ配布する。

(2) 家庭教育学級

各家庭教育学級において、様々な学習領域や特色ある内容の開催となるよう、学習内容の充実に向けての支援や小・中学校との連携促進を図る。また、運営委員の負担になっている事務手続きについては、実態に応じて支援を行っていく。今後も引き続き、開設がない学校でも、家庭教育に関する保護者の学習機会の場を設定するとともに、開設に向けての働きかけを続けていくようにする。

平成31年度 熊本市社会教育関係 所管事務、予算及び主要事業概要

平成 3 1 年度 所管事務		
局名		所 管 事 務
課（室）名		
市民局		
生涯学習課	（１）生涯学習の推進に係る企画及び実施に関すること。 （２）社会教育に関する諸施策の企画及び実施に関すること。 （３）社会教育委員に関すること。 （４）公民館の設置及び廃止に関すること。 （５）公民館の総括に関すること。 （６）関係教育機関との連絡及び調整に関すること。 （７）地域婦人会連絡協議会その他社会教育的団体の支援に関すること。 （教育政策課所管） （１）社会教育及び文化財保護の総括調整に関すること。	
教育委員会事務局（各区役所）		
公民館 〔まちづくり センター、 交流室〕	（１）生涯学習支援に関すること。 （２）公民館の管理及び運営に関すること。 （３）公民館の使用許可に関すること。 （４）公民館の事業の企画及び実施に関すること。	

平成31年度 主要事業

(単位：千円)

局名		事業名	H 3 0 決算見込額	H 3 1 予算額 (再掲)	事 業 内 容
	課（室）名				
市民局					
	生涯学習課	生涯学習推進経費	448	460	生涯学習情報システム運用保守経費
		社会教育団体助成経費	3,459	3,459	市地域公民館連絡協議会事業費補助 市地域婦人会連絡協議会事業費補助 市P T A協議会事業費補助（教育政策課所管）
教育委員会事務局（各区役所）					
	公民館 〔まちづくり センター、 交流室〕	主催講座開催経費	19,267	19,191	公立公民館18館および分館2館の講座開催
		公民館子ども活動支援経費	2,560	2,487	各区5ブロックで子どもたちが自ら企画運営して、貴重な 交流体験の機会を得る事業 休日を有意義に過ごせるよう、小中学生等を対象とした 講座、体験学習の開催
		一般管理経費（公民館費）	182,394	182,478	公立公民館18館および分館2館の嘱託職員関係経費
		（震災）公立公民館・ホー ル災害復旧経費	146,750	10,000 (10,000)	熊本地震による災害復旧経費 平成30年度繰越分（城南火の君文化ホール分）
		（震災）指定避難所機能強 化事業（公設公民館）	0	19,000	公民館のトイレ洋式化改修
		（震災）中央公民館災害復 旧経費	711,940	0	熊本地震による中央公民館災害復旧経費
		白川公園内複合施設等管理 運営経費	0	90,612	白川公園内複合施設の管理運営に係る指定管理料
		白川公園内複合施設等開設 準備経費	0	54,100	白川公園内複合施設（中央公民館）開設に向けた初度用品 （備品・消耗品）購入費、開設記念式典経費、システム改 修費等 修費等

平成 3 1 年度 熊本市社会教育関係 所管事務、予算及び主要事業概要

平成 3 1 年度 所管事務

局名		所 管 事 務
課（室）名		
教育委員会事務局		
図書館	（１）図書、記録、郷土資料、地方行政資料、刊行物その他必要な資料の収集、整理、保存及び廃棄に関すること。 （２）図書館サービスに関すること。 （３）図書館事業の企画及び実施に関すること。 （４）移動図書館に関すること。 （５）図書館協議会に関すること。 （６）分館及びくまもと森都心プラザの図書館に関すること。 （７）学校その他の教育機関との連携に関すること。 （８）図書館の施設、設備等の維持管理に関すること。 （９）図書館の設置及び廃止に関すること。	
博物館	（１）博物館資料の収集、保管及び展示に関すること。 （２）博物館資料の調査研究に関すること。 （３）博物館資料に関する研究報告その他の資料の作成及び頒布に関すること。 （４）学校その他社会教育機関等の行う教育、研究等の支援に関すること。 （５）博物館事業の企画及び実施に関すること。 （６）博物館協議会に関すること。 （７）塚原歴史民俗資料館に関すること。 （８）博物館の施設、設備等の維持管理に関すること。 （９）博物館の設置及び廃止に関すること。	

平成 3 1 年度 主要事業

(単位：千円)

局名		事業名	H 3 0 決算見込額	H 3 1 予算額 (再掲)	事 業 内 容
	課（室）名				
教育委員会事務局					
	図書館	学校図書館支援センター推進事業	6,836	6,893	専任司書（嘱託員）雇用、図書流通関係経費等
		図書館運営経費	332,871	350,790	・資料充実経費 85,000（85,000） 図書購入費、データベース賃借料等 ・図書管理システム関係経費 83,500（80,200） システム更新に伴う新サービス ①電子書籍貸出サービス ②在架予約サービス ③公民館図書室向け貸出制度 ・図書館施設整備経費 11,500（0） 市立図書館第2駐車場改修工事 他
	博物館	博物館展示管理経費	23,700	35,600	展示物の保全・展示環境の整備・収蔵資料の管理等経費
		子ども科学・ものづくり経費	900	1,098	小中学生等を対象とした参加体験型教室開催経費
		特別展等開催経費	3,700	23,300	特別展・企画展の準備・実施経費
		博物館展示整備経費	107,100	1,700	展示ケース補修、展示パネル製作等経費
		博物館情報システム関係経費	6,031	5,655	熊本博物館情報システムの保守管理等経費
		細川家舟屋形修復等経費	59,000	0	重要文化財「細川家舟屋形」の解体移築等経費
		博物館施設整備経費	3,900	5,175	施設（塚原歴史民俗資料館含む）の補修・改修経費

平成 3 1 年度 熊本市社会教育関係 所管事務、予算及び主要事業概要

平成 3 1 年度 所管事務

局名		所 管 事 務
課（室）名		
教育委員会事務局		
	青少年教育課	（１）家庭教育に関すること。
	金峰山少年 自然の家	（１）金峰山少年自然の家の管理及び運営に関すること。 （２）金峰山少年自然の家の使用許可に関すること。 （３）金峰山少年自然の家の事業の企画及び実施に関すること。
	指導課	（１）学校の学習指導及び進路指導に関すること。

平成 3 1 年度 主要事業

(単位：千円)

局名		事業名	H 3 0 決算見込額	H 3 1 予算額 (再掲)	事 業 内 容
課（室）名					
教育委員会事務局					
青少年教育課	家庭教育推進事業	1, 200	1, 200	家庭教育セミナー開催経費 ステップアップ研修事業実施経費	
金峰山少年 自然の家	金峰山少年自然の家 受入主催経費	27, 072	28, 335	小学校 5 年生の集団宿泊教室及び少年団体等の受入並びに 主催事業（「はじめの一步」他）の実施	
	金峰山少年自然の家 施設整備経費	20, 157	20, 860	正面玄関扉等改修工事他	
	（災害復旧費） （震災） 野外教育施設 災害復旧経費	（8, 832）	0	自然の家災害復旧工事設計費	
指導課	学力向上対策経費	7, 322	4, 200	学びノート教室の開催経費（学びノート作成はH30まで）	

平成 3 1 年度 熊本市社会教育関係 所管事務、予算及び主要事業概要

平成 3 1 年度 所管事務		
局名		所 管 事 務
課（室）名		
経済観光局		
	文化振興課	（１）文化財の保護及び活用並びに埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
	埋蔵文化財 調査室	（１）埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
経済観光局		
	スポーツ振興課	（１）総合型地域スポーツクラブの育成・支援に関すること。 （２）市民スポーツフェスタの開催に関すること。 （３）放課後子どもスポーツ教室に関すること。 （４）学校体育施設夜間開放に関すること。

平成 3 1 年度 主要事業

(単位：千円)

局名		事業名	H 3 0 決算見込額	H 3 1 予算額 (再掲)	事 業 内 容
課（室）名					
経済観光局					
	文化振興課	(震災) 文化財等災害復旧経費	465, 519	835, 700 (206, 171)	文化財等の震災復旧に向けた調査・設計・復旧工事等経費 平成 3 0 年度繰越分
		史跡保存活用経費	1, 000	45, 200	史跡公園の適正な維持・管理経費 ・高麗門跡整備工事 等
		文化団体助成経費	2, 735	2, 735	伝統芸能等の保存会への保存振興事業費の補助や顕彰会等 の文化関係団体への顕彰・公開等の事業費補助
		記念館管理経費	34, 377	31, 725	記念館の管理運営及び三賢堂の施設の維持管理費
		田原坂西南戦争資料館管理経費	14, 476	14, 301	田原坂西南戦争資料館の維持管理経費
	埋蔵文化財 調査室	埋蔵文化財調査経費	556, 504	494, 036	文化財保護法に基づく遺跡の包蔵地内の開発行為に伴う発掘調査
経済観光局					
	スポーツ振興課	総合型地域スポーツクラブ経費	1, 067	1, 087	スポーツリーダー講習会講師謝金 各種会議・研修等参加旅費・負担金 総合型地域スポーツクラブ支援費（需用費・使用料等） 一般市民・各スポーツクラブ貸出用スポーツ用具購入費 （消耗品費・備品購入費）
		子どもスポーツ教室	1, 350	1, 350	総合型地域スポーツクラブへの子どもスポーツ教室運営委託 ・備品購入費
		市民スポーツフェスタ経費	2, 213	2, 213	熊本市民スポーツフェスタ実行委員会運営補助
		学校体育施設夜間開放経費	75, 088	75, 145	管理人報酬・委託料、備品、消耗品、事務補助嘱託員報酬